	評価項目•内容(具体的	内内容を記載)	具体的ア	プローチ
	職業 口あり(仕事内容:)		
参	□なし			
加	家庭内役割:			
"-	余暇(趣味など):			
	その他:			
	□抑うつ気分			
	□興味・喜びの著しい減退			
	□食欲の障害			
١.	□睡眠の障害			
	□焦燥又は抑止			
理	□易疲労感又は気力の減退			
	□無価値感又は自責感			
	□集中力低下又は決断困難			
	口希死念慮			
-	その他:		白史事件, 短礼機型	
	同居家族:		自宅改造∶福祉機器	□要 □不要
	家屋:		 介護保険サービス	□要 □不要
揺	沙庄 		川 暖 休 映 リー L 人	山安 山小安
環境	その他:		その他:	
児	C V7世。 		-C 071世:	
2调	∟ 間後の目標∶			
_~:			77.00 III E .	
			家族の希望:	
リハ	ビリテーションの治療方針:			
退院	時の目標と見込み時期			
、日 7 产	後の	毛轮 吃床 4086/		
巫防	後のリハビリテーション計画(性類"		
退院	後の社会参加の見込み:			
الانت				
		本人・家族への説		
		説明を受けた人:	本人・家族()	
			署名	
		= 1 = = +		
		説明者:	署名	

リハビリテーション総合実施計画書

ID	患者氏名			男•女	
生年月日(明・大・昭・	平•西暦)	年	月	В	歳
評価日:平成•西暦	年	月	⊟(□ □ •	ヶ月目)
診断名: 発症日: 治療内容(術式):	(頃)・	手術日:			
合併症: 冠危険因子(既往):□高血品 □慢性腎臓病(CKD)□狭			型満 □高尿(酸血症 □家庭	
	在の体重 nHg 現在(kg: BMI(1 の血圧(又は家庭		9)	kg/m ² mmHg
血液検査結果 □HbA1c □HDL-C □他(% mg/dl	□LDL-C □中性脂肪)	mg/	
心機能 □左室駆出率(E □他(F)【正常・低 [~]	下】	<u>%</u>)
身体機能: □関節可動域制限(部位 □筋力低下(部位: □他(:		』(部位: シンス障害(
運動負荷試験結果(運動処) 運動耐容能【良好・低下】 運動処方(脈拍・血圧)	(健常人の	%: bpm		METs) mmH	p
自転車	W	分		□/ì	固
<u>歩行</u> 他注意事項:	km/h	分	•		<u> </u>
	<u> </u>				
口当院にて 口自宅にて [口他施設にて()
今後の検査・期間等につい ⁻	C				
説明日:平成•西暦 5	車 月 日	本人•家族氏名	 Z		
医師:		理学療法士:			
差 護師:		他 職師 () .		

	□無職 □家事 □休職中 □発症後退職 □退職予定 □転職 □転職予定 □配置転換 □現職復帰 繊腫/業務内容/通勤方法等(⇒暇・社会活動等 (
7	「具体的目標とそのアプローチ:
活動	□ADL □車椅子【自立・他人操作】□介助歩行 □杖歩行 □屋内歩行 □屋外歩行 □階段昇降 □他() □入浴 □入浴 □半身浴 □シャワー浴 □他() □3:1□ケ- □問題なし □問題あり() □他() □性() □性() □世() □世() □がらまた。 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
環境	□独居 □同居(□一戸建【平屋・2階以上】 □集合住宅: 階居住、エレベーター【あり・なし】 □その他(具体的目標とそのアプローチ:自宅改造/福祉機器【要・不要】 介護保険サービス【要・不要】
心理	 ・自身の病気に対する不安 □なし□あり(具体的に: ・日常社会活動に対する不安 □なし□あり(具体的に: ・睡眠 □良好 □不良【入眠障害・中途覚醒・他(・食欲 □良好 □減退 具体的目標とそのアプローチ:
第三者	るの不利(発病による家族の社会生活変化や健康/心理問題の発生) □なし □あり(具体的に:
	5防・健康維持・回復のための目標 5気の理解 □体力向上 □食事管理 □内服管理 □運動習慣の獲得 □禁煙 □他()
	5止に対する理解と支援・指導の必要性 『自己検脈』 □できる □要指導 『家庭血圧・体重測定』 □実施している □要支援 『自分に合った運動』 □理解している □要支援 『適切な食事・摂取量』 □理解している □要支援 『正しい服薬』 □理解している □服薬忘れなし □要支援 『薬の管理』 □自分 □家族(□他人) 『タバコ』 □禁煙 □受動喫煙(本)□要支援 『症状出現時の対処法』 □理解している □要指導 他『 □ □ ○
本人・	家族の希望

(別紙様式24)

(精神科)退院療養計画書

平成 年 月 日

病棟(病室)	
主治医以外の担当者名	
予想される退院日	
退院後の治療計画	
退院後の療養上の留意点	
退院後必要となる保健医療サービス又は福祉サービス	
そ の 他	

注) 退院日等は、現時点で予想されるものである。

(主治医氏名) [1
-----------	---

酸素の購入価格に関する届出書(平成 年度)

1 前年の1月から12月までの酸素の購入実績

購入年月	定置式液化酸素貯槽 (CE)		可搬式液化酸素容器 (LGC)		大型ボンベ (3,000L超)		小型ボンベ (3,000L以下)	
期八十 月	購入容積 (リットル)	購入対価 (円)	購入容積 (リットル)	購入対価 (円)	購入容積 (リットル)	購入対価 (円)	購入容積 (リットル)	購入対価 (円)
年1月								
2月								
3月								
4月								
5月								
6月								
7月								
8月								
9月								
10月								
11月								
12月								
計								
単価								

2 前年1年間において酸素の購入実績がない場合(当該診療月前の酸素の購入実績)

購入年月	定置式液(C	匕酸素貯槽 E)		比酸素容器 GC)		ドンベ 0L超)	小型ス (3,000	ドンベ L以下)
無八十 月	購入容積 (リットル)	購入対価 (円)	購入容積 (リットル)	購入対価 (円)	購入容積 (リットル)	購入対価 (円)	購入容積 (リットル)	購入対価 (円)
年 月								
単価								

3 その他

購入業者名	種類(液化酸素、ボンベ)

上記のとおり届出します	0	
-------------	---	--

平成 年 月 日

医療機関コード

所在地 名 精 開 設者 保険医療機関

印

殿

[記載上の注意事項]

- 1 届出は、当該前年の1月1日から12月31日までの間に購入したすべての酸素について記載すること。 2 対価は、実際に購入した価格(消費税を含む。)を記載すること。

平成 年 月 日

主 治 医 氏 名	
1. 輸血の種類(自己 血輸血*を含む。)と 使用量等	
2. 輸血の必要性及び輸 血を行わない場合の危 険性等	
3. 輸血の副作用等	
4. 輸血に当たり必要と される感染症検査及び 患者血液の保管	
5. その他留意点(副作 用・感染症救済制度 等)	

* 自己血輸血を実施しない場合は、その理由を説明すること。

私は、現在の疾病の診療に関して、上記の説明を受け、質問する機会があり、十分に理解した上で輸血を受けることに同意しました。

(患者氏名) 印

(家族等氏名) 印

(患者との続柄:)

※ 患者の署名がある場合には家族等の署名は不要